2026年度 **稲葉学園高等学校** 校長通信 10月22日 NO. 31

「熱い心」

～一人も取りこぼさない
「日本一熱く、絆強き学校」への挑戦～

校長：中野敏伸

「元気と勇気」は伝染して学校文化となる！

後期生徒会役員選挙立会演説会が行われ、各候補者から熱い思いが語られた。素晴らしい**「元気と勇気」**をありがとう。「何かに本気で打ち込み目標に向かって努力する経験をしたい。先輩方が学校のために全力を尽くす姿を見て、自分も生徒会の一員として本気で活動し力を尽くしたいと思うようになった」と語った仲間もいたね。学校のために本気で取り組む先輩の熱い姿が後輩たちの心を動かし、「次は自分も…」と元気と勇気が沸き起こってくる。そう、まさに**「元気と勇気」は伝染して、伝統として受け継がれ、やがて学校文化となる**んだね。**一人一人の思いが学校をつくる！**「できるか・どうか」ではなく、**「そうなりたいか・どうか」**で一歩を踏み出す！**「元気と勇気」**を使い惜しみすることなく、どんどん使って伝染させていこう！

生徒会長候補　**奥村 澪さん**
生徒会役員を経験して裏方の大変さ、みんなが笑顔になってくれる嬉しさに気づけました。…なんでも頼れる会長になりたいと思っています。

２年副会長候補　**堺　爽空さん**
みんなが毎日楽しく安心して過ごせる学校にしたいです。学校生活を送る中で小さな不満や疑問など一人一人の中で思うことがたくさんあると思います。そんなみんなの意見を大切にし、一人でも多くの人の声を生徒会に届けたいと考えています。

３年副会長候補　**吉田楼風さん**
前年度の後期生徒会の経験を生かし、卒業までの残り少ない時間の中で最高の時間を過ごせるような企画を提案していきます。校長先生と共に「日本一熱く絆強き学校」をつくっていきます。

１年副会長候補　**後藤虹都実さん**
今よりもっと笑顔があふれる学校にしたい。先生方からの目線はもちろん、生徒目線の学校づくりを生徒会の方と一緒に目指していきたいです。仲間と協力することのやりがいを実感して、生徒会活動を通して自分自身を成長させたいです。

書記候補　**張口若菜さん**
一人一人の意見を大切にし、それらをわかりやすくまとめ、よりよい学校づくりにつなげていきたい。責任を持って物事に取り組む大切さを学んできた経験を生かしていきたいです。

書記候補　**後藤愛姫さん**
人の役に立ち理想の自分に近づきたい。一歩踏み出して成長したいと感じている時、周りのたくさんのことに挑戦する人たちの姿に感化され、自分も頑張りたいと勇気を出しました。責任をもって全力で取り組みます。

書記候補　**田邊駿伎さん**
自分が初めてこの学校に来た際に、先輩たちのおかげで学校生活が楽しくなったため、生徒会長や副会長を支えてもっと元気で笑顔になるような学校にしたいと思ったので立候補しました。

【応援演説者】
大倉宝子さん、久保河内海晴さん、安藤暖実華さん、秦結音さん、御手洗千紘さん、荒木絆花さん、木村海智さん

一人の温かい心が仲間の元気と勇気を呼び起こす。
一人の言葉と行動が仲間を変える！
新しくなることを恐れるな！
熱くなれる瞬間を
絶対にのがすな！

仲間のために勇気を出して壇上に立った熱い心たち。これぞフォロワーシップだね。

努力は人間に与えられた最大の力である！

次の頑張りどころは中間テスト。**時間は有限、時間の使い方は無限！**これまで望むような結果が出ていなくても、**君はまだできる、まだやれる**、**「まだ…」**の心意気で**「逃げ癖」**から**「努力する癖」**に変えていこう。さぁ、まだ遅くない。今日から始めよう。